

僕は、
あなただけの

性♀
転換

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

アイク!!
出発の前に

あなたに
伝えなけれ
ばならな
いことが
あるの
です

こんな僕でも

受け入れてくださいますか?



…これはまだ
二人で旅に出る
前の話

成長が遅く
見た目の変化に乏しい
僕の身体に異変が起きた

胸の違和感や
性器の収縮など

まず明らかに身体が
小さくなり

?

何かおかしいことに
なつてませんかこれ！

理解しがたいことが
次々と起こり…

ふくっ♡

僕の身体は
女性のものに
なっていたのだった

嘘でしょっ……

原因は不明

頭を抱えたが
服さえ着れば
何とか見た目は
誤魔化せるようだった

厚着してて
よかった……

はっ

しかし異変は
増えていくばかりで

はっ



自分の中にこんなものがあるなんて知らなかった

流れる血が
そうさせているのか

性転換して
しまってから
獣のような強い
肉欲に駆られていた



鎮静作用のある
香も意味をなさず



セネリオ

あるか?

っ...
はい...



僕はただ
朝を待つことしか
出来なかった

それから
厄介なのは

すまない
もしかして
寝てたのか

僕の身体は
アイクに
過剰反応する

いえ
少し横になって
考え事を...

アイクがこんな時間まで
起きているのは
珍しいですね...

だから今は
会わない方が
いいはずだが

少し無理を
してしまった

彼と話すことは
僕にとって
特別なもの
だったから

お前が
働きすぎなんだ

隣
いいか?

ところで
何故ここに...?

例のことについて
相談しに来た

僕にはしばらく
(女性化したこととは無関係に)
悩みがあった

自分の
存在理由についてだ

戦争も終わり
国も安定した今
彼の役に立てることが
あるのかと

...セネリオ...
なんか少し縮んだか?

っ...気のせいですよ

そんなことばかり
考えていた

本題なんだが
クリミアを発つ
目途が立った

引継ぎは
殆ど済んだし

ひと月ほどしたら
まずはガリアに
向かおう

…あの
本当に僕で
よろしいのですか？

？

ただでさえ
異端であるのに

性別まで変わって
しまった僕をアイクは
受け入れてくれるのか

ん…
お前も心配性だな

むしろ俺の方の
我儘くらいに
思っているんだが

正直に
話すべきなのか…

今までもずっと
俺を支えて
くれていただろう

それが続くだけだ…

やっぱり正直に…

アイク…
少しお話し
したいことが

ゆら…

やってしまった

おそらく
焚いていた香のせいだ

すー
すー

…アイク?

ドク
ドク

ドク
ドク

変化に気付いた時点で
距離を置いていたれば
良かったものを

後悔する間もなく

僕の理性は
あっけなく崩壊
したのだった



自分の性に関する知識の
乏しさとは裏腹に

未知の快感に自分が
男だということを
忘れそうになる

自然と手がそこに
吸い寄せられる

女になったことで

この人を無理矢理にでも
繋ぎ止めることが
出来るのではないかと

浅ましい願望が
頭を過った



いっそのこと起こして
誘ってみようかとも
考えたが

改めて自分の身体を見て
思いとどまった

成長の遅い僕の身体は
お世辞にも成熟した女とは
言えないものだったから



夜な夜な彼の寝室に
忍び込んで

あの日以降も
欲望の暴走は止まらず

最低な行為を
繰り返した

月のものは
来ていないから
孕むはずもないのに

はぁい

あ~~~~

あぁい

うんうんうん

身体が彼の子種を
欲しがっていた

ビク

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ビク

くちゅ

はぁい

ビク

うんうんうん

うんうんうん

うんうんうん

トロ~~~~♡

あぁい

♡♡♡

やはり…
無理でしょうか

それでも愚かな僕は
諦めることができず

僕の身体は
彼を受け入れるには
幼すぎた

身体の熱は
増すばかりだった





また大きく
なってる！

恐ろしいことに

行為を繰り返して
挿入を試みる度

身体は急速に
成熟していった



まるでアイクのための
身体であるかのように

そして...

僕はもう
一人の女として
アイクを愛して
しまっている

おっぱい
出てきた

きゅっ

アイク...

くちゅ

くちゅ

僕の今の姿を見たら
どう思うのだろう

軽蔑される
だろうか

ふーっ

ふーっ

それとも...

ドクッ

ドクッ

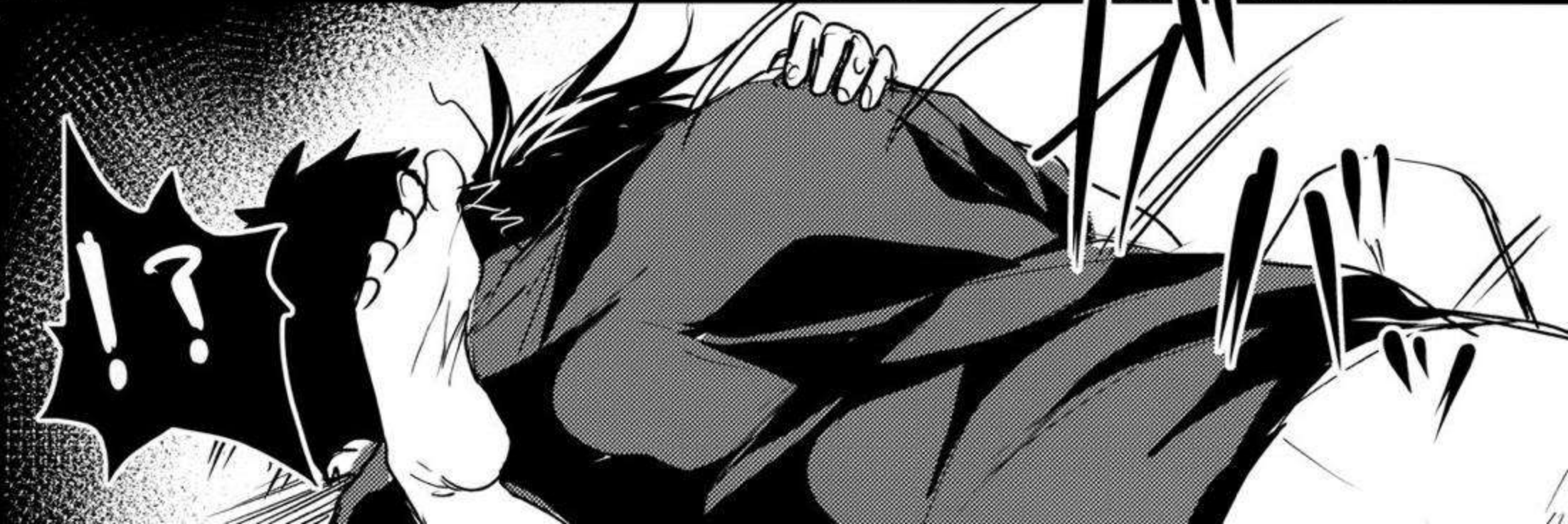
彼に合わせて
変化する肉体

僕の存在理由

淡く生じた
可能性に

悦んでいる
自分がいた







ああ……駄目だ

抱き込まれた!!



快樂で
朦朧とする中

この体勢は

僕は
ある確信に至った

まるでアイクに
求められてレク
いるかのようで

僕が女になった理由

僕の全てを
彼に捧げるため

自分の生きる場所を
守るためなのだ

今の行為が
決定打に
なったのか

遂に僕の子宮が
機能し始めた

明日はクリミアを
経つ日だ

セネリオ...

そして...

結果的に
アイクは女の僕も
受け入れた

アイク

今日は丁度
安全な日です

はい

どうぞお好きなように

はい

元に戻る
兆しはないが
そんなことはもう
どうでもいい

この肉体こそが

彼に必要とされなければ
生きられない僕の
新たな存在理由なのだから

Fin...

後書き

やっとかけた！念願のセネリオ本です！
もう多分10年越しくらいの悲願達成ですね…。
セネリオが蒼炎時の服を着ているのはTSして身体が小さくなったからです。という
無理矢理な言い訳をしましたが単純にこの衣装が好きだし脱がしやすそうなので…。細かいことはいいんだよ。
なんかちょっとポエミーになったかもしれないなと思ったら恥ずかしいです。
アイクとセネリオについて語ったらキリがないのでここでは省きますが、
こういうセネリオが勝手にグルグル悩んでるシチュが好きです。
アイクのためだけの身体になっていくTSセネリオは我ながらすげえつちだと思えます…。
作中の時系列は二人が旅立つ直前くらいっていう設定なんですけど、
テリウス資料集が実家なのでなんか細かい矛盾とか破綻とかあってもスルーして下せえ…。
最終的にセネリオは勝手に結論を出していますが、んな細かい理由なくても
アイクはオールオッケー☆って感じだと思います。つまりこの本の内容はセネリオの早合点の空回りってこと(?)
(↑脱稿直前で言いたいこと書いたら凄惨な文章になった)
今回のイベントはこの本含めて3冊なんですが、
だんだんスキルアップしてるのが自分でもわかったので少しいれたいです。
でももう二度と3冊はしたくないです。

お手に取ってくださった方ありがとうございました。
少しでも楽しんでいただけたなら幸いです。

越後屋

※
Web上への無断アップロード、複製、オークションなどへの出品、
未成年及び一般人への譲渡は絶対にしないでください。
この本は個人による非公式の二次創作同人誌です。
公式などこの世の全ての物と無関係です。
※

奥付

『僕は、あなただけの』

発行日 2019/08/12
発行者 越後屋タケル
サークル 猛茸大収穫祭

連絡先
Twitter:@take_ri_take2

印刷 金沢印刷

